

## (5) 新川中原住区

### 1) 基本的な考え方

新川中原住区は、市の中央部を斜めに横切る仙川が流れています。仙川流域は、『緑と水の基本計画』の拠点（ふれあいの里）である丸池の里を中心に公園整備、農地や樹林の保全、水資源の活用など、総合的な整備事業を推進します。

また、新川団地の建替えに際しては、良好な住環境の確保を基本とし、周辺環境の整備により、公園的な都市空間整備のモデルとなるよう整備を

進めてきましたが、今後も関係者との協議を進めながら地域特性を踏まえたまちづくりを進めていきます。専門学校がある地域は、文教研究施設としての環境を保持し、住宅と工業・業務施設が混在している地域は、周辺環境との調和を図りながら、都市型産業、地場産業等の保護・育成を行います。

### 2) 主な事業の方向

- ①東台小学校の建替え工事及び第五中学校の耐震補強工事を実施します。
- ②吉祥寺通りなどについては、快適な歩行者空間が確保されるようバリアフリーの視点に立った歩道の拡幅整備・歩車道分離の整備を推進するとともに、コミュニティバス事業基本方針に基づき、新たにコミュニティバスの導入を図ります。
- ③東京外かく環状道路のあり方については、良好な生活環境の維持、市民の利便性向上、安全・安心のまちづくりが進展するよう、国や都に対してワークショップ形式の市民参加機会の充実を要請しており、今後も、市議会の意向も踏まえながら、市民及び関係機関の協働によるまちづくりが進むよう取り組んでいきます。
- ④緑と水の回遊ルートの拠点である丸池の里については、丸池公園の拡張整備や生産緑地・樹林の保全など、緑と水の調和した環境づくりを推進します。また、ルート整備事業として、仙川沿いにある仙川公園や農業公園、児童遊園等について、河川を軸とし機能的に連続した整備を

図ります。

- ⑤新川団地については、地区計画制度等を活用しながら、市全体の地域ケア拠点を民間活力の導入により整備します。
- ⑥南部図書館（仮称）について、市内・近隣の大学・研究機関等に行った知的資源の地域開放における調査の結果を踏まえ、民間が有する施設を活用する方向で公立図書館として計画期間内の整備に向けた検討を進めます。
- ⑦環境センター（ごみ焼却場）については、新ごみ処理施設稼働まで、環境負荷の低減、必要な維持・補修等を行い施設の長期的な利用に配慮した適切な運営に努めます。
- ⑧市の単独処理区である東部処理区については、「多摩川・荒川等流域別下水道整備総合計画」との整合性を図りながら、東京都流域下水道等への編入に向けて取り組んでいきます。
- ⑨待機児童の解消と多様化する保育ニーズに対応するため、幼稚園跡地を活用し、こじか保育園を整備します。



